

放課後児童クラブ 内部評価結果（施設所管課による評価）

【評価対象施設】放課後児童クラブ

【指定管理者名】社会福祉法人 大東市社会福祉協議会

【評価対象年度】令和4年度

【施設所管課名】教育総務部 家庭・地域教育課

業務内容について評価

放課後児童クラブ指定管理者は、指定管理期間3期目の5年目を迎え、豊富な経験とノウハウを最大限に発揮し、業務の充実とともに利用者からの信頼感も高まっていることを評価します。

日常業務においては、「安全・安心」を重視し、適切な保護者対応や学校との連携、児童クラブ間の連携等円滑かつ効果的な運営が行われています。

大阪府放課後支援員認定資格研修へ計画的に支援員を参加させ、業務の専門性の向上に資したことは評価できます。また、コロナ禍でも保護者就労支援のため児童クラブ業務に携わった支援員に対して処遇改善を行い賃金アップを実施されました。また、各児童クラブの活性化や運営の統一のため、児童クラブ間での人事異動に取り組んだ点も評価していますが、支援員のなり手が少なく、人材確保が今後の課題であると感じられます。

学校等で新型コロナウイルス感染症の陽性者が出ている中、児童クラブでは消毒、換気等の徹底で感染対策を行い、児童が安心して過ごせていました。

コロナ禍で予定していた行事の多くが中止となる中、3年ぶりに12小学校全体の児童クラブ発表会を、感染対策を講じながら三部形式で開催できたことで全体の交流が図れ、学年を超えた縦のつながりや団結力を養っています。その他、外部企業の出前講座を活用し、ヤクルト健康教室では、体の仕組みから排泄の大切さを、第一生命のライフマネーリングでは、キャッシュレス社会が進む中で、ライフサイクルゲームを通してお金の大切さやリスクについて学び、それぞれ児童の生活の在り方を考える機会となり、学校では学べない貴重な体験の場となっています。また、市内で活動している団体の朗読会や、地域包括センターの方を講師として認知サポーター講座を実施し、認知症の理解やコミュニケーションの大切さを学び、児童の豊かな感性や知識の醸成に繋がり評価できます。その他、各児童クラブでは一斉防災訓練や警察署員の安全教室を実施するなど、安全への意識づくりや豊かな体験機会を提供することで、児童の安全と成長に寄与されています。

夏季限定入所の試行については、昨年より多くの入所希望がありましたが、児童の受入れをできる限り実施することで保護者の就労支援に繋がり評価できます。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事が中止となっていますが、コロナ禍でも、感染対策を十分にしながら、楽しんで過ごせる行事等の工夫がなされており、児童の豊かな情緒の発達等を促すものとして評価されます。学校の学年・学級閉鎖時も、多くの児童が通所していましたが、感染者を一人も出さない環境づくりが徹底されており、業務への責任感が高く評価できます。

利用者満足度について評価

利用者の苦情が直接、教育委員会に寄せられることもほとんどなく、指定管理者がきめ細やかで柔軟な対応をされているものと考えられます。保護者からの要望等を真摯に受け止め、対応されており、結果として保護者の信頼や安心感につながっていることを大変評価します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、消毒、換気、利用者の検温等にも積極的に取り組み、支援員や児童に対して指導を徹底されていることから感染拡大防止に取り組まれている姿勢が十分伺えます。

緊急時等の連絡についてメールを活用するなど、保護者への連絡をスムーズに行っていることは大変評価できます。夏季限定利用の試行や長期休暇・土曜日の開所時間の変更等について、積極的に協議に取り組み、指定管理者が保護者ニーズに寄り添い運営を進めていこうとする前向きな姿勢が伺えます。

長期休業中の開所時間や活動の在り方等、利用者ニーズは多様化、細分化される傾向があるように思われますが、今後も、利用者ニーズ等の課題に対し、適切な対応をお願いします。

収支状況について評価

各教室（実施の単位）において、節電・節水への意識を支援員だけでなく児童にも高めることで、光熱水費等の削減に努めています。また、児童が安全かつ健やかに学べる環境づくりについて、適宜、施設修繕等が行われており、安全な環境整備がなされていました。加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため換気を行い、同時に、児童の熱中症予防のための空調にも配慮されていました。経済的な効率もさることながら、児童の生命の安全を最優先に取り組まれており大変評価できます。

利用料の徴収については、大東市放課後児童クラブ利用料滞納対策実施要領を定め適切に取り扱いを行うことにより、収納率99%以上を保ち続けています。

総合評価

子どもの安全・安心な居場所として、教室では児童一人ひとりを的確に把握するとともに、児童の豊かな人間性を育む学びの場となるような運営が円滑に行われています。

コロナ・防災・防犯・インフルエンザなど、あらゆる情報を迅速に収集し、適切な対応に取り組み続けた結果、発表会アンケートの結果においても、90%以上の児童が楽しんで通っている等、肯定的な意見が多く、保護者からの信頼が得られていると判断できます。

保護者の就労増加に伴い、入所児童の増加がみられますが、待機児童が生じないよう、柔軟・適切に対応していただきました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、三密を避け、マスク着用、手洗い、消毒、ウイルスガードの設置、換気、空気清浄機の設置等の対策と、児童の発達に応じ感染対策を行いながら行事運営等がなされ、利用者の信頼感と安心感を高めていただいたことを大変高く評価しています。

コロナ禍でも、感染対策を講じながら児童クラブ発表会を3年ぶりに再開されたことは、参加児童の心身の成長や集団での協調性等に効果が得られ大変評価できます。

今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底して行い、引き続き利用者本位のサービス提供に向け、家庭、地域との連携のさらなる強化、各教室の実情に即した中・長期的な運営計画等、効率的かつ効果的な事業運営の実現を期待します。